

## 白目の血管破れる



なにこともほどほどが良いと思  
うのだが、過ぎては大騒ぎをする。  
61歳のA子さん。右目がコロコ  
ロする。右目が兎の目のように  
真っ赤だ。眼科で、結膜下出血と  
診断された。が、先生の「内科の  
病気で起きることもある」という  
丁寧な説明が仇になった。

彼女は、すぐに内科へ走る。高  
血圧なし。糖尿病なし。白血病の  
ような血液の病気もない。が、そ  
れで納得できないのがA子さん  
だ。「頭の中が心配。目の出血は、  
脳出血やくも膜下出血の前兆か  
も」と、何で調べたのか、とんで  
もないことを言いだす。

結膜下出血は、白目(眼球結膜)

## 結膜下出血

にある血管が破れることで起き  
る。普通、1、2週間で治ってし  
まう。原因は、外傷やくしゃみ、  
咳など。年を取ると、血管は脆く  
なる。出血し易くなる。が、頭  
中の病気がもとで出血することは  
ない。だから、「頭の検査は必要  
ない」と言うのだが、Aさんは  
頑として応じない。

確かに、脳というところは、な  
にも症状がなくても、精密検査を  
するとんでもない異常が見付か  
ることがある。MRI(磁気共鳴  
画像装置)を使った脳ドックでは、  
平均60歳のひとを対象にすると、  
20%以上のひとに異常がみられる  
という。脳梗塞のような変化を合

## 頭の中の病気は無関係

めれば、60%以上が異常という統  
計もある。A子さんだって、頭の  
精密検査をすればなんらかの異常  
が見付かるかもしれないのだ。

でも、もしも見付かったら、エラ  
イことになる。が、Aさんの頭  
のMRIの写真を観て、ワッシー  
は、少なくとも5年以上は寿命が  
延びたような気がした。脳出血は  
もちろん、脳梗塞も脳動脈瘤も  
ない。きれいな脳だ。というのに、  
「PET(陽電子放射断層撮影)  
じゃどうかしら？」などと、A子  
さんの不安は尽きない。生半可な  
知識は、不幸のもとになる。

(石黒修三 いし黒るクリニック  
・脳神経外科専門医、金沢市在住)